

## モヤモヤをブレークスルーに変えるうまいやり方とは？ 《行政課題解決セミナー》

「やることはやっているのに、何となくうまくいっていない気がする」「モヤモヤ・目標に近づいているのか、いないのか、モヤモヤ・でもうまく言葉では表せなくて、モヤモヤ」

こんなモヤモヤした状況というのは、よくあることではないでしょうか。

もし、目の前にやるべきことが山ほどあるならば、やれる仕事をやっつけてしまえば気も晴れるはずと、いちいち気にせず手を動かして気を紛らわせてしまうことは、よくあるかもしれません。

そして、放置するとあとであの時気づいていたはずなのにと後悔することになりかねない、だからこそモヤモヤしているのかもしれない。

では、そのモヤモヤは放置するしかないのでしょうか。

言葉で表せないモヤモヤを解消する方法は本当にないのでしょうか？(講師メッセージより)

### 《ワークショップレポート》

今回のワークショップでは、埼玉県庁の組織開発の取組、GoodCycleProject(GCP)について議論しました。GCPの目指しているもの「働きがいのある職場」があまりに遠くて、日々の活動がそこに近づいているのか、どのように一つ一つ近づいていけばいいのか、モヤモヤする状況でした。

まずは、問題を整理してみましよう。

岸良さんの問題解決のワークショップが始まりました。まず、GCPの重要な困りごとを出し、次に、その困りごとが解消した後の目標を出していきます。

現状と目標のギャップが問題。これで問題が定義されました。

講師・ファシリテーター 岸良裕司



株式会社Goldratt Japan CEO。  
全体最適のマネジメントサイエンスであるTOC (Theory Of Constraint:制約理論) をあらゆる産業界、行政改革で実践。最先端のTOC知識体系の、「楽しく」、「わかりやすく」、「実践的」な講義と、参加者をワークに集中させるファシリテーションから、たくさんの学びが得られると大好評である。

次に、最も重要な目標を「GCPに取り組んだ職場が目覚ましい成果を出している」として、その目標を達成するうまい手段を考えていきます。

GoodCycleProjectって、GoodCycleを起こすことだって、知ってますか？(笑)

この当たり前とも思える質問で、TOCのBadCycleをGoodCycleに変える手法とGCPが結びつき、GoodCycleを作るやり方を教えられることが分かりました。さらに、重要な目標を達成したあとに起こる望ましい状況をつなげていくと、「埼玉県が日本一行政マネジメントが優れた県になる」というところまで道筋まで見えました。

### 《今回の学び》

これまでに、何十回と、TOC理論を学んでいるにも関わらず、ボトルネックから目を背けて、やりやすい、結果が見えやすいところに取り組んでしまっている自分に気がきました。「目の前のことに対処したい」という人間の本能をみくびってはならない」というゴールドラット博士の教えのとおりだと実感しました。

そんな人間の本能に気づくことが、ボトルネックに集中し続ける第一歩なんだと、学び深いセミナーとなりました。

### 《他の発表》

- ◆「Next Innovator 結成とBMCスクールの活動紹介」  
チーム行マ研の皆様  
(上原さん、林さん、宇山さん、柳田さん)



### 全体最適の行政マネジメント研究会について

- ・ 全体最適のマネジメント理論TOC(制約理論)を活用し、「お金を使わず知恵を使って」を合言葉に、行政、民間の参加者が垣根を越えて、日本をよくするために知恵を出し合い、問題解決に取り組むNPO法人。そのセミナーは、身近な行政課題を題材に、TOCを実践的に学べる場となっている。
- ・ 次のセミナーは2022年2月19日です。是非ご参加ください！！